

## 第 28 回災害対策本部員会議での知事の主な発言

### 1. 会議冒頭の発言

- 昨日、松本総務大臣が、被災地を視察され、その後、県庁にもお越しいただいた。発災以来、緊急消防援助隊の派遣はもとより、多数の総務省職員を県・被災市町へ派遣いただくとともに、全国の自治体からの応援職員の派遣に係る調整を担っていただいております、感謝を申し上げます。

また、災害廃棄物処理について、被災市町が、財源の不安なく安心して災害廃棄物の処理に取り組むことができるよう、国庫補助の地方負担に対して手厚い交付税措置を講じる予定であることなどを表明いただいた。重ねて感謝を申し上げます。

- 加えて、本日、のと里山海道や国道 249 号、河原田川などの復旧について、国による権限代行等を正式決定いただいた。国土交通省に感謝申し上げますとともに、一日も早い復旧をお願いしたい。

- さらに、自衛隊のご協力により、七尾港に停泊中のフェリー「はくおう」を、被災された方々の休養施設として活用いただいている。自己負担なしで食事・入浴・個室での 1泊2日の宿泊が可能であり、これまで 600 名を超える方にご利用いただいた。昨日は、自衛隊による慰問演奏も開催され、被災された方からは、心身ともにリフレッシュできたと、大変喜ばれている。

現在、避難所ごとに順次実施をしているが、非常に大きなニーズがあるので、是非とも継続をお願いしたい。

- 今後の復旧・復興にあたっては、被災者に寄り添ったきめ細かな生活支援、農林水産業、伝統産業、観光産業を柱とする能登地域の特性を活かしたなりわいの再建をはじめとする「創造的復興」、この2本柱で進めていかなければならない。

本日、この2つの課題に中長期的視野に立って対処していくため、県庁に「復興生活再建支援チーム」と「なりわい再建支援チーム」を発足させたところである。この2つのチームには、国・市町・関係団体としっかり連携し、庁内をリードしてください。

- 応急仮設住宅については、これまでに輪島市、珠洲市、能登町、穴水町、七尾市において、計338戸を着工している。

今般、25日（木）に、七尾市で105戸、珠洲市で177戸を追加着工する。26日（金）には、新たに志賀町で20戸着工する。

- 金沢・加賀等への避難者が一時的に被災地に戻る交通手段について、バス事業者と調整を進めてきた。従来より金沢駅と奥能登を結ぶ特急バスを運行してきた北陸鉄道グループが、地域公共交通事業者として、ぜひとも復旧・復興に力添えをしたいとの強い思いから、輪島市、珠洲市、穴水町、能登町の宇出津への無料特急バスの運行を決定した。

明後日25日（木）から、概ね1か月間、輪島へは1日2往復、珠洲・宇出津へはそれぞれ1日1往復の無料バスを、いずれも穴水駅経由で、運行を開始することである。

り、心から感謝申し上げます。

これにより、奥能登2市2町への臨時的な交通手段が確保されることとなる。運行開始後も被災者のニーズに機動的に対応できるよう、県としても、引き続き、バス事業者等との調整を図っていく。

- 被災地での一般の方々によるボランティアについては、既に1万2千人を超える方々に事前登録いただいております、心から感謝申し上げます。

今般、甚大な被害が発生した6市町のうち、七尾市と、穴水町、志賀町の1市2町で、ボランティアを受け入れる体制が整いつつある。27日(土)からの活動開始に向け、明日24日(水)から事前登録者の中から募集を開始する。

先日も申し上げたが、極めて甚大な被害が発生した珠洲市と輪島市では、未だニーズ調査に着手できていない、または着手し始めたばかりであり、ボランティア作業の開始時期は、インフラの状況などにより、市町によってタイムラグが生じる見込みである。

熊本地震など過去の大規模災害では、ボランティア活動のピークは発災から2か月後であった。今回も、ニーズ調査が完了した箇所から徐々にボランティアを受け入れることになる。ボランティアを希望される方には、まずは事前登録を行ってください。そして、登録いただいた方には、順次、募集状況をお知らせしていく。是非、お待ちいただきたい。

## 2. 会議最後の発言

- 本日から明後日にかけて、大雪となる恐れがある。被災

地での2次被害をはじめ、雪による被害が発生しないよう、万全を期してください。

- 政府においては、明後日にも、生活・なりわい再建のための支援パッケージを取りまとめる予定となっている。引き続き、本日発足した2つのチームを中心に、関係機関からの要望を吸い上げ、国に速やかに伝えてください。これは第1段であり、第2段、第3段もあるので、大物も含めて、球を打ち込んでください。
- その際には、幹部の皆さんにも、ぜひ、被災地の現場に入ってもらいたい。被災者や被災事業者の「生」の声を聞きながら、国に対して制度の創設・改正、規制緩和などを求めるなど、従来の発想にとらわれない効果的な支援に繋げてください。
- 応急仮設住宅とみなし仮設住宅、公営住宅の供給計画をお示しした。これをしっかりと被災者の皆さんに周知し、住まいの確保に繋げてください。
- 先ほど、午後から、輪島市の被災者が入所している額谷体育館と、珠洲市・能登町の中学生が集団避難している医王山スポーツセンターを視察した。1. 5次や2次避難所を含めて、様々な困りごとがあると思うが、被災者に寄り添った支援をお願いしたい。その際、聞き取り調査を丁寧に行い、情報を被災者の方の出身市町と、情報共有できるようにしてください。